

# 正味財産増減計算書

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

公益財団法人大阪ガス国際交流財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 32,554,028]	[ 21,909,015]	[ 10,645,013]
基本財産受取利息	32,554,028	21,909,015	10,645,013
特定資産運用益	[ 2,244,353]	[ 2,845,209]	[ 600,856]
特定資産受取利息	2,244,353	2,845,209	600,856
雑収	[ 1,598,420]	[ 584,580]	[ 1,013,840]
受取利息	4,006	4,638	632
為替差益	1,594,414	579,942	1,014,472
経常収益計	36,396,801	25,338,804	11,057,997
(2) 経常費用			
事業費	[ 26,975,458]	[ 19,207,460]	[ 7,767,998]
給料手当	1,736,662	1,509,998	226,664
会議費	2,010	0	2,010
旅費交通費	1,828,067	138,097	1,689,970
通信運搬費	38,861	85,883	47,022
印刷製本費	0	45,045	45,045
保険料	8,900	0	8,900
支払助成金	( 21,977,676)	( 16,092,297)	( 5,885,379)
教育機材助成金	2,084,962	1,972,538	112,424
試験研究助成金	7,047,447	5,331,600	1,715,847
奨学金助成金	9,564,357	8,511,934	1,052,423
研修助成金	3,280,910	276,225	3,004,685
委託費	1,160,634	1,175,361	14,727
雑費	222,648	160,779	61,869
管理費	[ 17,776,586]	[ 10,385,853]	[ 7,390,733]
役員報酬	825,264	773,685	51,579
給料手当	6,946,648	6,039,992	906,656
会議費	5,000	0	5,000
旅費交通費	16,590	9,850	6,740
通信運搬費	425,815	305,882	119,933
減価償却費	54,896	54,896	0
消耗品費	50,089	65,125	15,036
印刷製本費	272,833	262,680	10,153
光熱水料費	634,331	630,857	3,474
賃借料	1,122,435	1,162,585	40,150
保険料	60,351	81,559	21,208
諸会費	195,700	198,120	2,420
租税公課	7,580	1,790	5,790
委託費	474,234	148,820	325,414
雑費	6,193,346	650,012	5,543,334
為替差損	491,474	0	491,474

科 目	当年度	前年度	増 減
経常費用計	44,752,044	29,593,313	15,158,731
評価損益等調整前当期経常増減額	8,355,243	4,254,509	4,100,734
基本財産評価損益等	[ 2,033,727]	[ 3,709,900]	[ 5,743,627]
基本財産評価損益等	2,033,727	1,972,146	4,005,873
基本財産売却損益等	0	1,737,754	1,737,754
特定資産評価損益等	[ 4,011,403]	[ 3,714,861]	[ 296,542]
特定資産評価損益等	4,823,071	3,714,861	1,108,210
特定資産売却損益等	811,668	0	811,668
評価損益等計	1,977,676	7,424,761	5,447,085
当期経常増減額	6,377,567	3,170,252	9,547,819
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,377,567	3,170,252	9,547,819
一般正味財産期首残高	142,784,591	139,614,339	3,170,252
一般正味財産期末残高	136,407,024	142,784,591	6,377,567
指定正味財産増減の部			
基本財産評価益	[ 18,188,407]	[ 2,403,319]	[ 15,785,088]
基本財産評価益	18,188,407	2,403,319	15,785,088
当期指定正味財産増減額	18,188,407	2,403,319	15,785,088
指定正味財産期首残高	919,270,531	921,673,850	2,403,319
指定正味財産期末残高	901,082,124	919,270,531	18,188,407
正味財産期末残高	1,037,489,148	1,062,055,122	24,565,974

# 正味財産増減計算書内訳表

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

公益財団法人大阪ガス国際交流財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	助成事業				
一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	[ 19,532,419]	[ 13,021,609]			[ 32,554,028]
基本財産受取利息	19,532,419	13,021,609			32,554,028
特定資産運用益	[ 1,346,614]	[ 897,739]			[ 2,244,353]
特定資産受取利息	1,346,614	897,739			2,244,353
雑収	[ 0]	[ 1,598,420]			[ 1,598,420]
受取利息	0	4,006			4,006
為替差益	0	1,594,414			1,594,414
経常収益計	20,879,033	15,517,768			36,396,801
(2) 経常費用					
事業費	[ 26,429,713]	[ 545,745]			[ 26,975,458]
給料手当	1,736,662	0			1,736,662
会議費	2,010	0			2,010
旅費交通費	1,282,707	545,360			1,828,067
通信運搬費	38,861	0			38,861
保険料	8,900	0			8,900
支払助成金	( 21,977,676)	( 0)			( 21,977,676)
教育機材助成金	2,084,962	0			2,084,962
試験研究助成金	7,047,447	0			7,047,447
奨学金助成金	9,564,357	0			9,564,357
研修助成金	3,280,910	0			3,280,910
委託費	1,160,634	0			1,160,634
雑費	222,263	385			222,648
管理費	[ 0]	[ 17,776,586]			[ 17,776,586]
役員報酬	0	825,264			825,264
給料手当	0	6,946,648			6,946,648
会議費	0	5,000			5,000
旅費交通費	0	16,590			16,590
通信運搬費	0	425,815			425,815
減価償却費	0	54,896			54,896
消耗品費	0	50,089			50,089
印刷製本費	0	272,833			272,833
光熱水料費	0	634,331			634,331
賃借料	0	1,122,435			1,122,435
保険料	0	60,351			60,351
諸会費	0	195,700			195,700
租税公課	0	7,580			7,580
委託費	0	474,234			474,234
雑費	0	6,193,346			6,193,346
為替差損	0	491,474			491,474
経常費用計	26,429,713	18,322,331			44,752,044
評価損益等調整前当期経常増減額	5,550,680	2,804,563			8,355,243
基本財産評価損益等	[ 1,220,237]	[ 813,490]			[ 2,033,727]
基本財産評価損益等	1,220,237	813,490			2,033,727
特定資産評価損益等	[ 2,406,841]	[ 1,604,562]			[ 4,011,403]
特定資産評価損益等	2,893,842	1,929,229			4,823,071
特定資産売却損益等	487,001	324,667			811,668
評価損益等計	1,186,604	791,072			1,977,676
当期経常増減額	4,364,076	2,013,491			6,377,567
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0			0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0			0

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合計
	助成事業				
当期經常外増減額	0		0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	4,364,076		2,013,491		6,377,567
当期一般正味財産増減額	4,364,076		2,013,491		6,377,567
一般正味財産期首残高	3,012,889		139,771,702		142,784,591
一般正味財産期末残高	1,351,187		137,758,211		136,407,024
指定正味財産増減の部					
基本財産評価益	[ 10,913,045]	[	7,275,362]		[ 18,188,407]
基本財産評価益	10,913,045		7,275,362		18,188,407
当期指定正味財産増減額	10,913,045		7,275,362		18,188,407
指定正味財産期首残高	551,562,319		367,708,212		919,270,531
指定正味財産期末残高	540,649,274		360,432,850		901,082,124
正味財産期末残高	539,298,087		498,191,061		1,037,489,148

## 附属明細書

1. 基本財産と特定資産の明細は、「財務諸表に対する注記」の4および5に記載している。

## 財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 公益法人会計基準の適用

「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日 改正令和 2 年 5 月 15 日内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）によっている。

② 満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券

時価法により評価している。

(a) 市場価格のある国債・社債や日本株式は、証券会社等から入手した期末日の市場取引価格に基づく価格（外貨建ての場合は決算日の為替で評価した価格）を時価として採用している。

(b) 市場価格のない仕組債は、合理的に算定された価格として証券会社の参考価格を時価として採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

ソフトウェアについて、5 年を償却期間とした定額法を採用している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(5) 外貨建の資産の本邦通貨への換算方法

外貨建て資産は決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は流動資産については為替差損益に、固定資産については投資有価証券評価損益に計上している。

3. 会計方針の変更

変更なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	12,272,045	220,654	0	12,492,699
投資有価証券	948,067,426	7,691,090	28,133,878	927,624,638
小計	960,339,471	7,911,744	28,133,878	940,117,337
特定資産				
助成事業運営資産	94,169,702	2,067,491	10,448,372	85,788,821
小計	94,169,702	2,067,491	10,448,372	85,788,821
合計	1,054,509,173	9,979,235	38,582,250	1,025,906,158

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債 に対応する 額)
基本財産				—
普通預金	12,492,699	(9,936,070)	(2,556,629)	—
投資有価証券	927,624,638	(891,146,054)	(36,478,584)	
小計	940,117,337	(901,082,124)	(39,035,213)	—
特定資産				
助成事業運営資産	85,788,821	(0)	(85,788,821)	—
小計	85,788,821	(0)	(85,788,821)	—
合計	1,025,906,158	(901,082,124)	(124,824,034)	—

6. 担保に供している資産

該当なし。

7. 固定資産の取得原価、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	274,480	196,711	77,769
合計	274,480	196,711	77,769

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし。

9. 債務保証等の偶発債務

該当なし。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
モルガンスタンレー PRD 債	100,000,000	103,020,000	3,020,000
合計	100,000,000	103,020,000	3,020,000

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
該当なし。
12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高  
該当なし。
13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
該当なし。
14. 関連当事者との取引内容  
該当なし。
15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引  
資金の範囲：現金及び現金同等物に係る収入及び支出  
重要な非資金取引：該当なし
16. 重要な後発事象  
該当なし。
17. その他（金融商品の状況に関する事項）
  - (1) 金融商品に対する取り組み方針  
当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、有価証券等により資産運用する。
  - (2) 金融商品の内容及びリスク  
保有する金融商品は、債券や株式等であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。その一部はデリバティブを組み込んだ債券（仕組債）であり、利息は為替を参照指標として決定される。また、米国債等の米ドル建て債券は、評価額が為替によって変動する。このため、これらの資産は市場リスク（為替変動リスク）にさらされている。ただし、助成事業の一部は米ドルで支払われているため、その分はリスクが低減されている。
  - (3) 金融商品のリスクに係わる管理体制
    - ① 資産運用及び管理規程に基づく取引  
金融商品の取引は、当法人の「資産運用及び管理規程」に基づき行う。
    - ② 信用リスクの管理  
毎年、当法人が委嘱する資産運用委員会が資産の運用及び管理について審議を行い、発行体の信用情報や時価の状況を把握し理事長に答申し、その結果を理事会に報告する。
    - ③ 市場リスクの管理  
関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。